

経営比較分析表

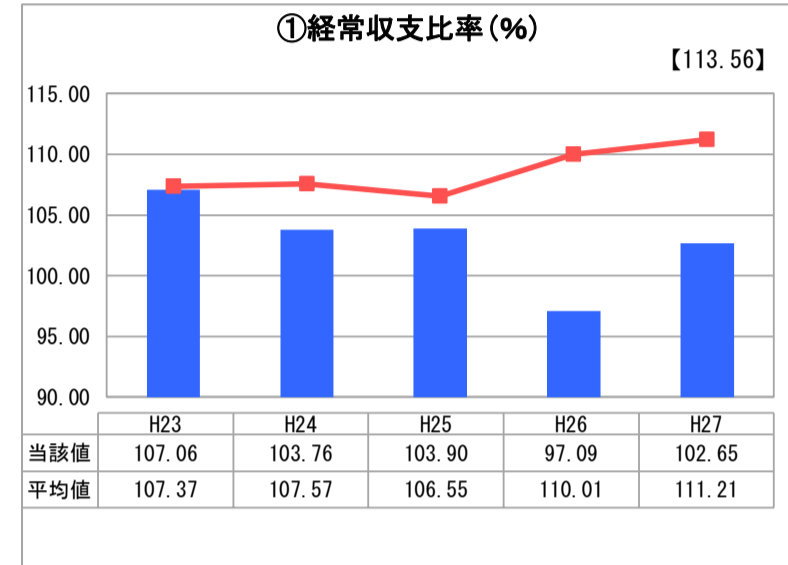
山形県 川西町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	35.02	99.08	5,184

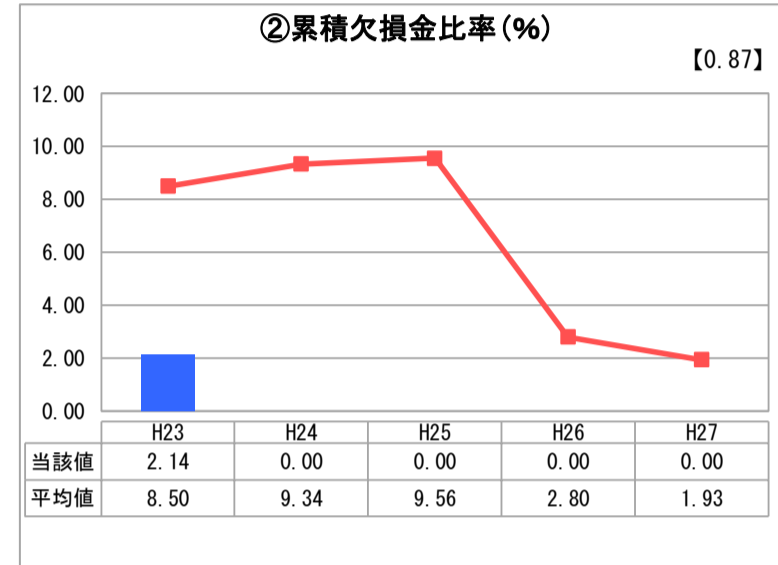
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,129	166.60	96.81
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,861	88.75	178.72

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

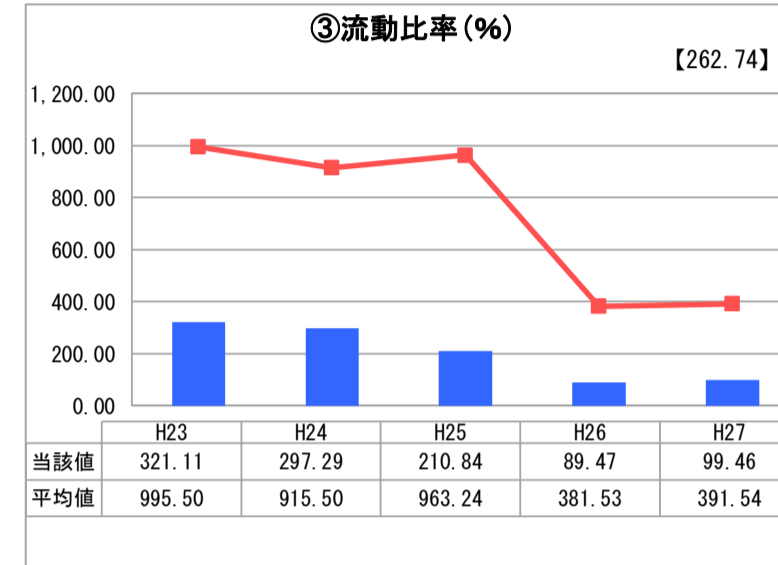
1. 経営の健全性・効率性



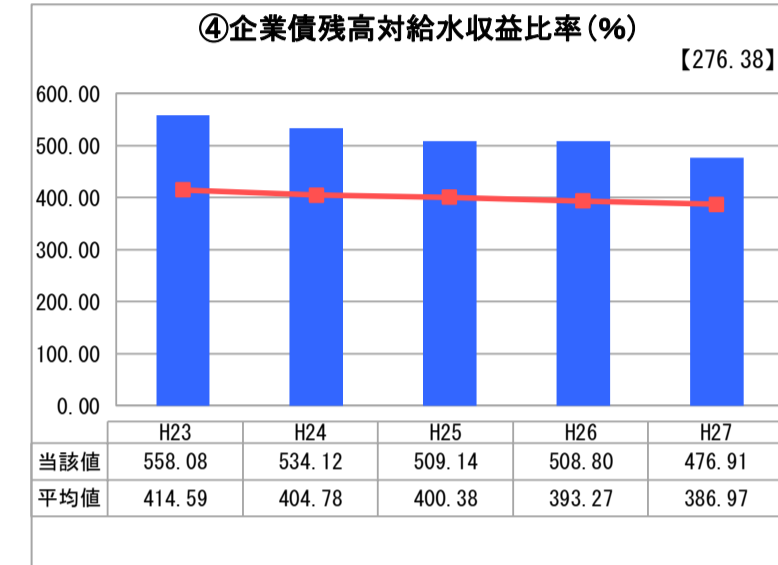
「経常損益」



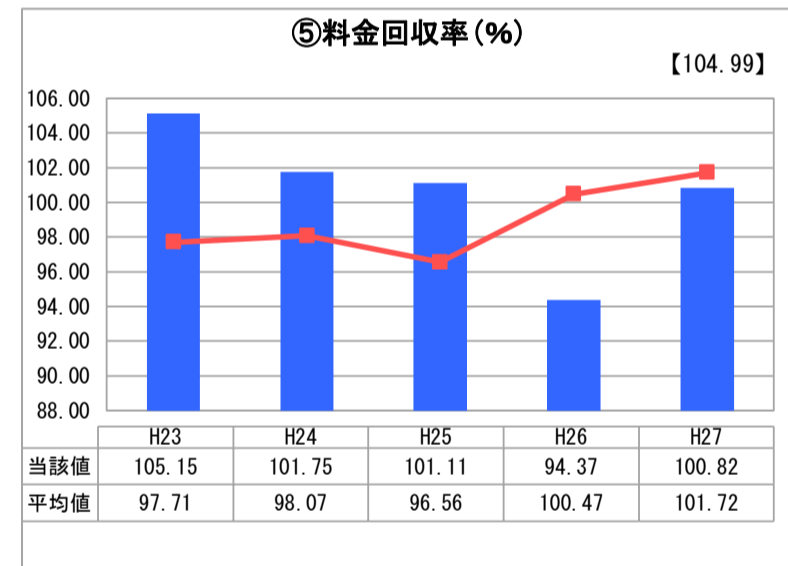
「累積欠損」



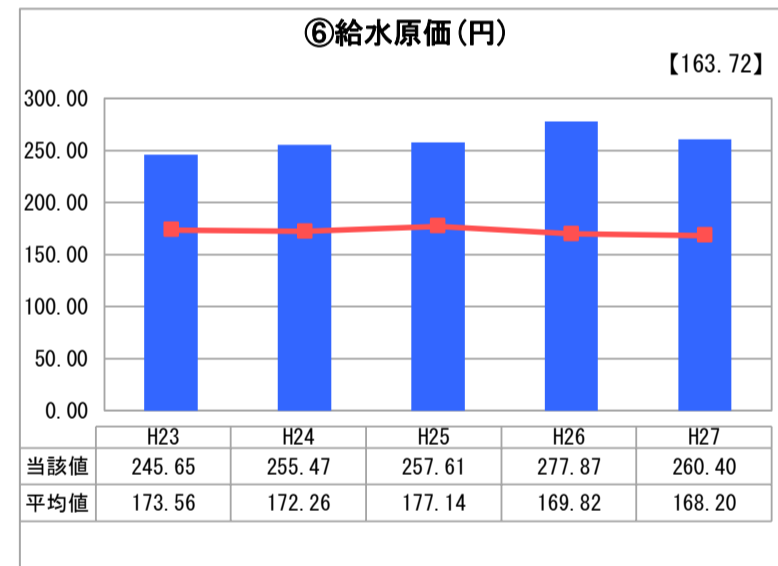
「支払能力」



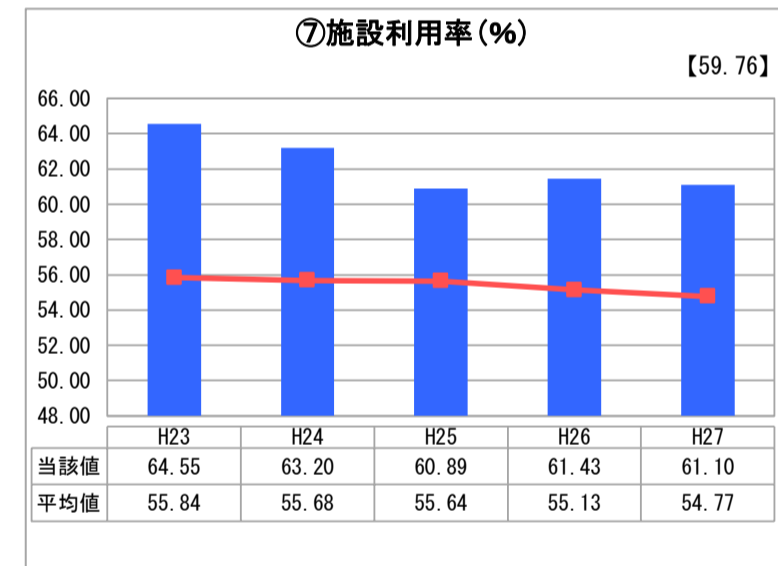
「債務残高」



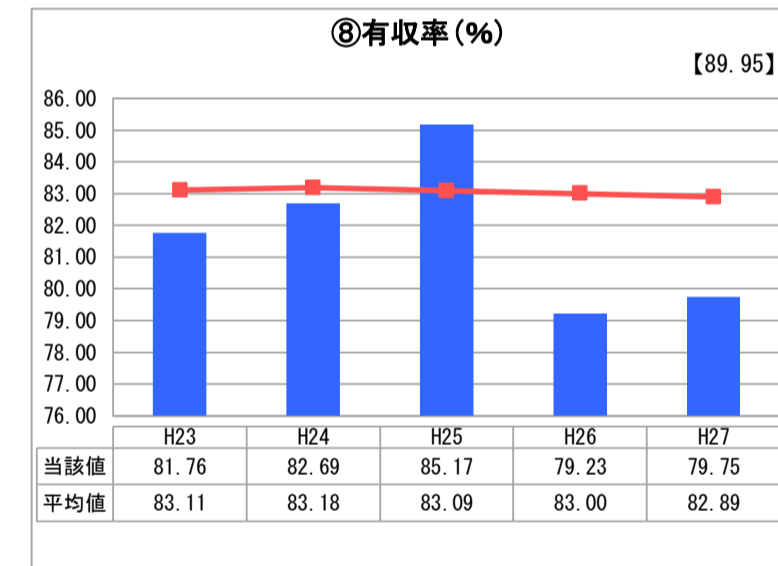
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

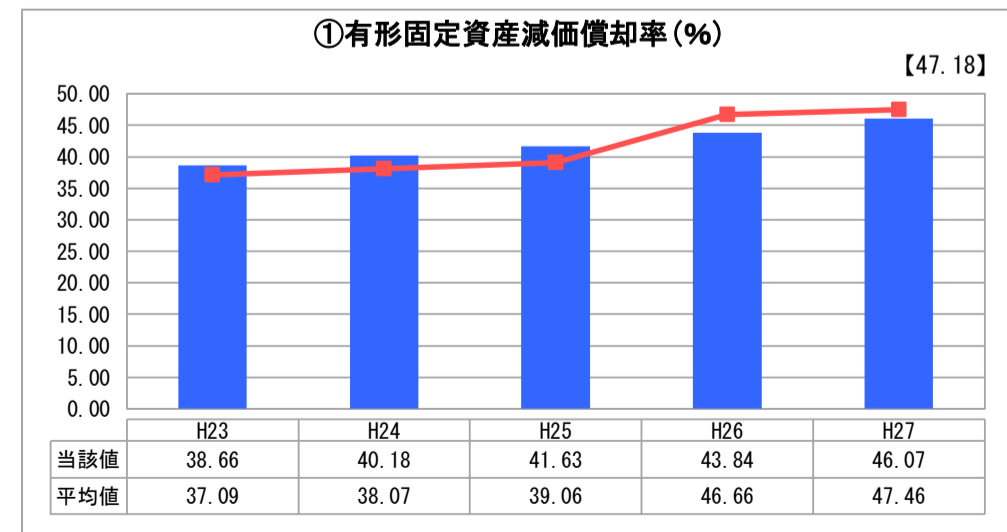


「施設の効率性」

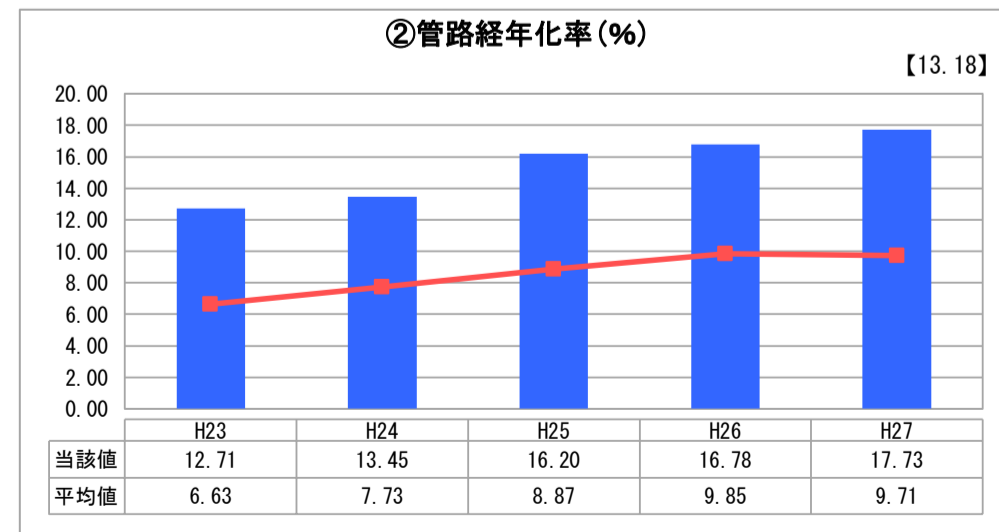


「供給した配水量の効率性」

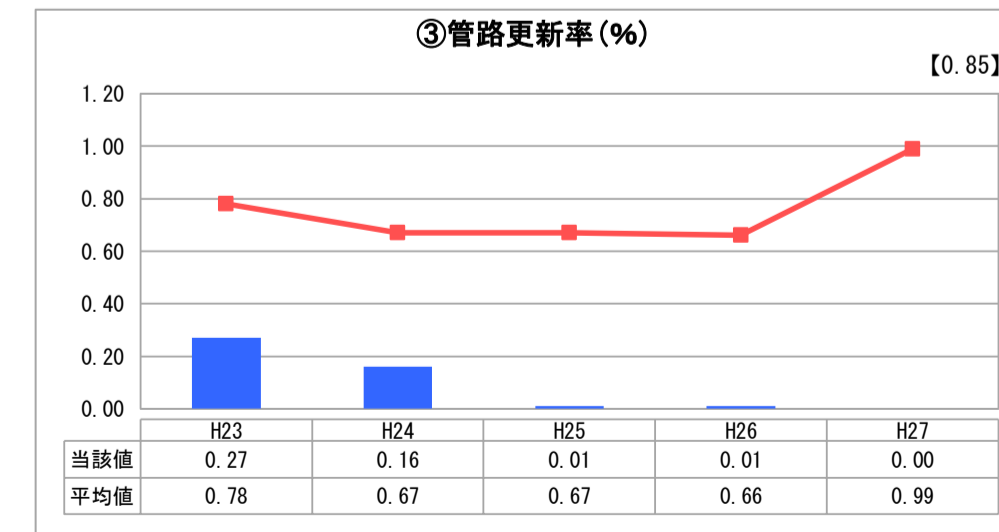
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の水道事業は、人口の減少や節水器具の普及、節水意識の高揚に伴い、年々水需要は落ち込み当面期待できない状況となっております。平成27年度の経営状況は、対前年比経常収支比率で100%を上回ったことにより、黒字となったものの類似団体平均にはまだまだ及ばない状況となっており、より一層の経費削減に務めなければなりません。このことを踏まえ、収入の増加対策として給水停止も含めた水道料金の回収(未収金対策)を実施することや費用の削減と合わせて、不明水(漏水)の減少を図り有収率を向上させる必要があります。また、企業債残高対給水収益比率は年々減少しているものの、類似団体や全国平均と比較しても高い推移となっております。今後も、一般会計からの支援(出資金)をいただきながら、水道施設の整備や更新工事等を行っていくことが、経営の改善・安定につながるものと考えております。

2. 老朽化の状況について

本町の水道事業は昭和36年に開始し、水道水の供給を行ってきました。開始時に整備した配水管は、現在では40年を超えており管路経年化率は類似団体や全国平均に比べ高い状況となっております。また、管路更新率においても、経営状況等により思うように進んでいないため、類似団体や全国平均よりも低い状況となっております。今後は、交付金事業(補助金)や一般会計からの支援等により計画的に更新工事を進めて行く必要があります。

全体総括

今後は、「経営の健全化・効率性について」においても記載したとおり、人口減少や高齢化及び節水器具の普及等が更に進むことが予想され、水道事業経営は厳しい状況が続くと考えられます。このようなことから、更なる費用の削減と有収率の向上を目指し経営を進めると共に、一般会計と連携を図りながら配水管の整備、更新を行う事が重要であると考えております。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。